

2011 アートマイル 報告書

日本学校名[北海道浦河町立堺町小学校] 担当教諭名[中島主税] (4年1・2 組 52名)
 交流相手国[インドネシア]
 海外学校名[HANGTUAH 10 Elementary School] 担当教諭名[ALIN/RONI]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した時間 総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように。 必要に応じて行を追加して ください。	総合	国際交流	26

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	世界とのつながりの中のハーモニー
絵に込めたメッセージ	世界へのつながり・自分の地域・心・音楽

半分描いた絵と完成作品の画像を貼付してください。 ※Web 公開しますので児童の顔などの扱いにご注意ください。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
テレビ会議 6 回 ・子ども達の世界の人とつながれるという意識 ・相手のことを考えてつながれる(思いやり・礼儀の意識の育成) ・相手のことを意識した音楽練習	学校の過程が緩やかであったので、今回の学習に取り組むことができた。高学年の ALT 英語の時間とのリンクがこれからの課題

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
作文集を交流のたびに作製。全 6 回の作文集になった。 以下作文を載せる アートマイル最終回 伊藤 有那 今日の3, 4時間目はアートマイルで最後の交流でした。インドネシアの方のプレゼンと私たちのプレゼン。そして、私たちは、「桜の木になろう」のリコーダー演奏。インドネシアの方は、国家を歌ってくれました。私は、インドネシアの相手と私たちで作った絵が出来たのがとても思い出深いです。これは、一生のこころと思います。そして、違うところで海外との交流をする子ども達にもみせてあげたいです。それにこの絵は、私たちとインドネシアの相手との仲間になったあかしの絵でもあると思います。 大変だったことは、やはり北海道のことについてのプレゼンでした。なぜ大変だったかというと、短くまとめて発表しなくちゃいけないのと、それを英語で発表しなくちゃいけなかったからです。	地域からは、驚きと良い評価をもらった。 教育委員会が、2 年次ということもあり、高い評価をしてくれて、インターネット回線(フォーマ ポケットワイファイ)を準備してくれた。 来年度浦河町の小学校で英語での交流学习をするため機材の準備(IPAD など)をしてくれ、非公式だが4月から、浦河町の国際交流部会がスタート。 浦河全小学校で、インターネットテレビ会議システム(スカイプ)をつかって英語の学習を行う予定に決定。全校を回る ALT(アシスタントティーチャー)が、6 年生をターゲットに相手を決めて、交流学习をいれて、英語を学習することになる。最初は、大人相手。次に他の地域の子とも達との交流を目ざす。

大変だったけれど、インドネシアの相手にプレゼンしたときは、ものすごい達成感がありました。それとインドネシアの相手がとても良い返事で返してくれたので、それもうれしかったです。 私たちも色々、歌やリコーダーをやったけれど、インドネシアの相手も歌や楽器をしてくれて、音楽の交流もできました。 最初のアートマイル交流の時、テレビ会議の中、会話したとき、今インドネシアの相手としやべれているんだといううれしさがありました。 全部で6回アートマイルをして思ったことは、なにも知らないし、やったことがないから、不思議に思うことがたくさんあるから、人の話にきちんと目をむけていられたし、自分が一度もやったことのないことばかりがこのアートマイルであったのですごく貴重なことだと思いました。 これから、海外のことにも目をむけて、頑張りたいです。そして、会議の友だちができたこともうれしかったです。	1学校規模から、全町規模への学習になりそう。
---	-------------------------------

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8月～9月	自己紹介の準備・交流3回 グループごとに、伝わる自己紹介を目ざす。 (言葉だけではなく、身振りや、実物をみせながら自己紹介しよう)	良かった。実際にテレビで交流するという意識が、練習にも繁栄されて ALT の先生も非常に驚きの意欲と雰囲気実際に交流した際には、足ががくがく震えたとの感想も。 柏木 智弥 アートマイル① 今日は、インドネシアとの交流 1 回目でした。始まる前からどきどきでした。はじめは、こちらの歌「たからもの」を歌いました。きっとインドネシアの人もしきれいな歌声だなあとおもっているはずです。毎日練習してきたかいがありました。 次は、自己紹介。今回は 1 班 2 班 3 班の3グループだけで、僕たちの班 7 班はみているだけでした。1 班 2 班 3 班は、凄く良かったです。 その次は、インドネシアの自己紹介がありました。なんていっているのかわからなかったけれど、一生懸命やっている様子が伝わってきました。 最後教育長さんがいっていました。友達をつくるのは大切ということです。次の交流は、聞くことを頑張りたいです。	総合

情報 収集	10 月	全体で、日本・北海道を紹介するのにふさわしいテーマをだして、各グループごと(合計9班メンバー6人程度)に、ファシリテーショングラフィックから、プレゼンシートへ。プレゼンシートは、4枚の図・写真とそれに対応したちょっとした文章がついたもの。4年生は、社会科で地域学習があり、それともリンク。 消防・警察・浄水場・下水処理場・アイヌ文化・馬(日高は馬の産地です。)浦河のゴミ処理、鮭、コンブ(日高は、有名なコンブの産地です。)冬のスポーツ【スケート・スキーなど】 使った情報収集のツールは、教科書。その他には、図書館からの図鑑。一番困難だったのは、文章を短くすること。4年生ということもあり、最終的な英語の文章になったときに、文章量が多いと、プレゼンしきれないということを考えてのこと   その後、ALTの先生に協力してもらい、プレゼンシートの言葉を英訳。 カタカナで書き込み、家でも練習する。   	実際に交流という出口が明確なので、作業も真剣。 1組2組合同ということもあり、子ども達は、仲良くなれる学習という意識で取り組むことが出来た。 練習の段階では、映画顔負けのような発音で話す子もあり、リハーサルでは大盛り上がりであった。	
テーマ 検討	10 月	全体で、どんなテーマが北海道を伝えられ、どのようなことが、相手とつながっていることを示せるか検討。テレビ会議は、音楽をベースにしてつながり、それから、自己紹介やプレゼンを行うことにした。そのため一大きなテーマは、「ハーモニー」【虹で表現】であったが、そこに音符を書き込み、音楽でつながるということを表現。その他には、北海道らしさということで、鮭、熊、冬の遊びなど個人テーマをもってタペストリーのように書き込んでいくことに。		
制作	11 月		プレゼンのまとめと並行して行う。 実質4時間で完成。	

鑑賞	2月	テレビ会議で、相手の Mr.RONI から、絵の様子を紹介。相手校は、アートマイルスラバイベントのため、臨時休校。ALTの先生もはいり、言葉の壁なく、交流しあえた。  		
----	----	---	--	--

■学習目標と成果はどうでしょうか？

「重視」には指導にあたって重視した順位を数字で記入してください。

「先生の手応え」の評価（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	6	⑤・4・3・2・1	自分の地域が他の地域とちがう。このことが自分達の調べ学習をしっかりと伝えるということにつながった。そのため、普通に感じていることが普通ではなかったということに気がつき、自文化の理解につながったように思う。途中のファシリテーショングラフィックは、模造紙、3枚に及ぶ物も多く、多くの内容に気がつくことができた。
異文化の理解	5	5・④・3・2・1	相手からのプレゼンが、理解できないこともあったが、見ていて気がつける部分も多く、異文化の理解の大きなきっかけになったように思う。アートマイルの大事なところは、理解をするという部分ではなく、理解をするきっかけになる体験をするということであるように思う。
コミュニケーション力(説明・共感・英語)	2	⑤・4・3・2・1	相手とのコミュニケーションは、万全ではなかった。言語の壁はやはり大きい。しかし、最初に非言語の交流(音楽・画像・実物など)をいれることで、共感本当に高まった。テレビ会議では、ついつい調べたことを伝えたい。しかし、最初に音楽のような気持ちが伝わるコミュニケーションをいれることで、相手がいる・相手の尊重という気持ちをもつことが出来たように思う。 6回のテレビ会議、繰り返すたびに親近感を子ども達も持つことが出来た。もちろん、教師も。
情報活用能力(情報収集・発信)	8	⑤・4・3・2・1	今回は、スカイプ以外は、基本インターネットを使わなかった。インターネットに載っている情報は、みんなが見られる情報。そうでないところに、子ども達が学ぶことになる教師側が考えたため。 教科書、地図帳、図鑑、情報活用能力とは、アナログの組み合わせそのものだと思う。
人間関係をつくる(学級内・交流相手)	1	⑤・4・3・2・1	プロジェクト型の学習のため、子ども達は回数を重ねるごとに仲良くなった。緊張感のある場面を共に乗り切る、このことが子どもたちの人間関係をつくる。
協働する力(役割分担・協力)	3	⑤・4・3・2・1	できた。
学習を追究する意欲	4	⑤・4・3・2・1	相手がいる学習で、出口がしっかりしているので、毎回の学習を大切にできた。
表現力(伝えたいことを絵で表す)	6	5・④・3・2・1	表すことができた。満足感がある作文が子ども達から帰ってきている。
作品を鑑賞する力	7	5・4・③・2・1	あいての作品を実際にみることでできていないので、「3」の評価。しかし、今回はタペストリー風に仕上げたので子ども達は自分達の作品を見比べ良いところを出し合うことが容易にできた。